

TOM'S® Turn long R129

ターンロング R129



企画・販売元

株式会社シーエー産商

〒480-0201 愛知県西春日井郡豊山町大字青山字東栄51

お客様相談窓口

☎0120-034-017

受付時間 AM10:00～12:00・PM1:00～PM5:00(月曜日～金曜日※弊社休日を除く)

本製品は、(株)トムスとの契約により、(株)シーエー産商が企画・販売するものです。

TOM'S®

TM2001-2024-07

TOM'S® Turn long R129

ターンロング R129

取扱説明書/保証書

ご使用になる前に、必ずこの「取扱説明書」を読んでいただき、十分にご理解された上で、記載の内容に従って正しく取り付けてご使用ください。



R129/03



「取り付け方」等は
動画でもご紹介しています。



本装置は、身長40～150cmまでのお子様用です。

※本書に使用しているイラストは、取り付け方や使い方をわかりやすくするため、実際とは多少異なる場合があります。

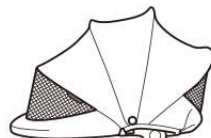
目次

■ご使用になる前に	
梱包内容／ご利用にあたって	2
本装置について	3
■各部の名称	4
■本装置の使い方	7
■取り付けできる座席	
ISOFIXとサポートレグで取り付けできる座席	9
取り付けできない座席	10
■安全にご使用いただくために	11
■各部の使い方	
バックル・タンク	15
肩ベルト	16
ヘッドサポート	17
リクライニングレバー	18
サポートレグ	19
回転ボタン	21
ISOFIXコネクタ	23
ISOFIXガイドキャップ	24
インナークッション	25
サンシェード	26
■チャイルドシートモードとしての使い方	
取り付ける前に	27
本装置を車両に取り付ける	28
■お子様を乗せる前に	31
■お子様の乗せ方	32
お子様の降ろし方	34
■ジュニアシートモードとしての使い方	
取り付ける前に	35
本装置を車両に取り付ける／お子様の乗せ方／お子様の降ろし方	37
■カバー類の取り外し方	38
■カバー類の取り付け方	39
■お手入れ	
カバー・パッド・クッション／本体・ベルト等	41
■困ったときには	43
■保証規定	45
■保証書	46

ご使用になる前に

【梱包内容】

ご使用の前に、各部品がそろっていることをご確認ください。



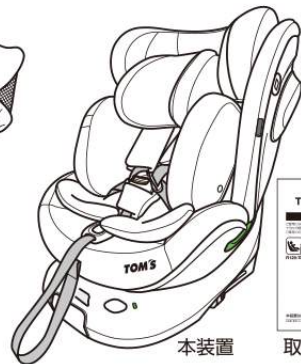
サンシェード



へら



ISOFIXガイド
キャップ(2個)



本装置



取扱説明書

※へらは、お手入れの際にカバーを本体に取り付けるときに、ご利用ください。

〈サイズ〉W445×D520×H475～800mm 〈重量〉14.5kg

ご利用にあたって

●本書を読んでいただくためのポイントマークについて

下記のポイントマークは安全に関する内容ですので、必ず守っていただき、本装置をご利用ください。



事故につながったり、生命の危険、重大な傷害のおそれがあることを記載しています。

✕ 図に表示している行為の禁止を示しています。



安全のため、ご注意ください。記載しています。

補足

より安全・快適にご使用していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

ご使用になる前に

本装置について

本装置は、安全基準(UN ECE R129/03)^{※1}に適合しており、身長が40～150cmまでのお子様を対象とした、R129(i-Size)改良型年少者用補助乗車装置です。

※1) UN ECE R129/03は、従来の安全基準「UN ECE R44/04」適合のチャイルドシートと比べ、より安全性を高めるために推進された新しい安全基準です。

●新基準UN ECE R129/03の詳細については、弊社ホームページ(QRコード→)をご覧ください。



本装置は、身長が40～105cm(新生児～4歳頃)までは、チャイルドシートモード(月齢15ヵ月かつ身長76cmを超えるまでは必ず後ろ向き)として、身長が100～150cm(3～11歳頃)までは、ジュニアシートモードとしてご使用いただけます。

ISOFIX取付金具が装備され、サポートレッグ^{※2}が固定できれば、本装置は装着できますが、装備されていても車種によっては適合しない場合がありますので、必ず『車種別適合表』・車両の『取扱説明書』をご確認ください。

※2) サポートレッグは、ジュニアシートモードでは使用しません。

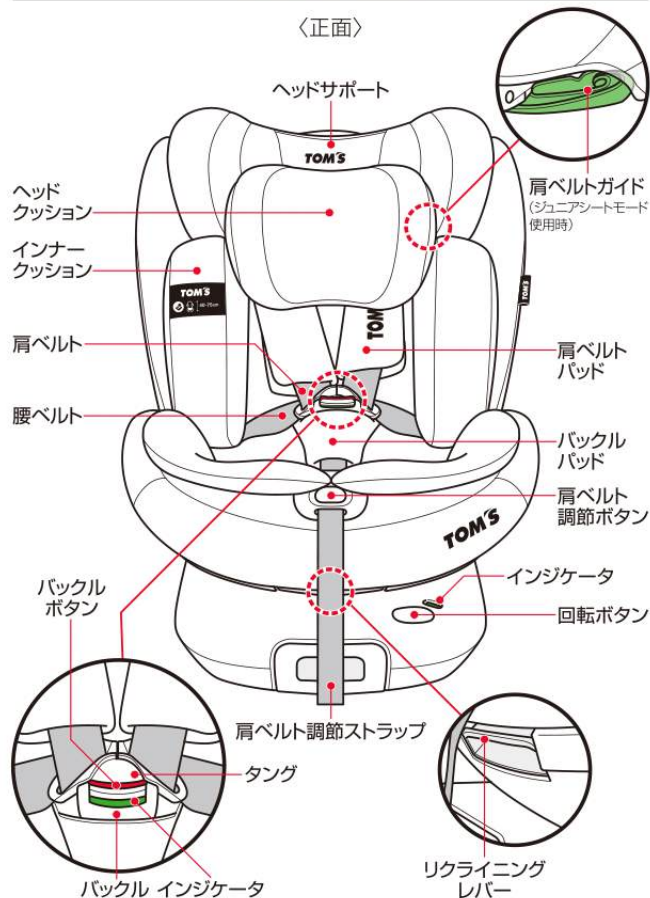
●車両の『取扱説明書』において「i-Size」表示マークがなくても、取り付け可能な場合がありますので、店頭の『車種別適合表』をご確認してください。

〈中古品のご使用について〉

前の使用者の使用履歴や使用状況が不明な場合は、ご使用をお控えください。特にベルトや部品にキズやひび割れ等の損傷がある場合は、事故等により本体に外部から強い衝撃を受けたおそれがありますので、決して使用しないでください。

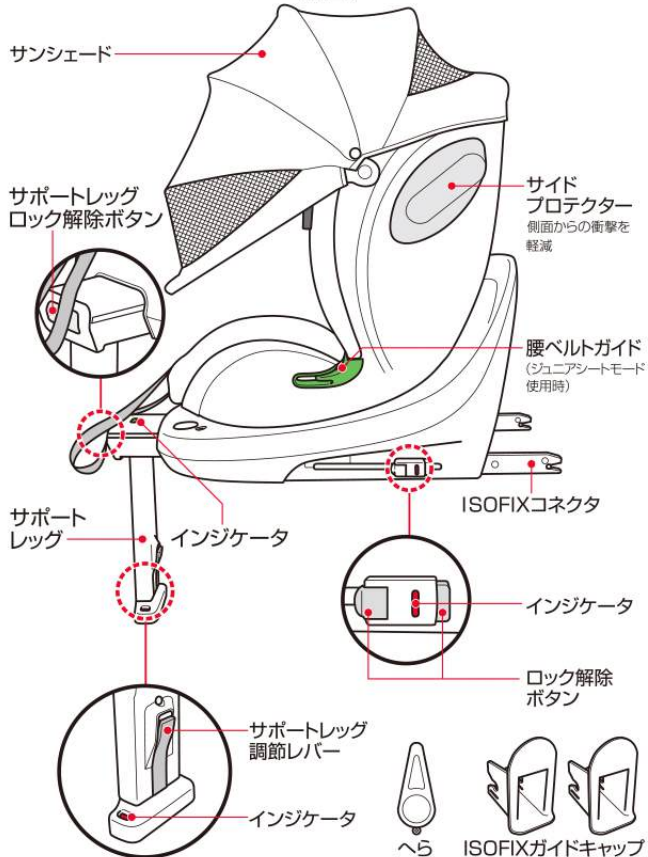
ご不明な点は、お買い求めになった販売店、または弊社「お客様相談窓口」までお問い合わせください。

各部の名称

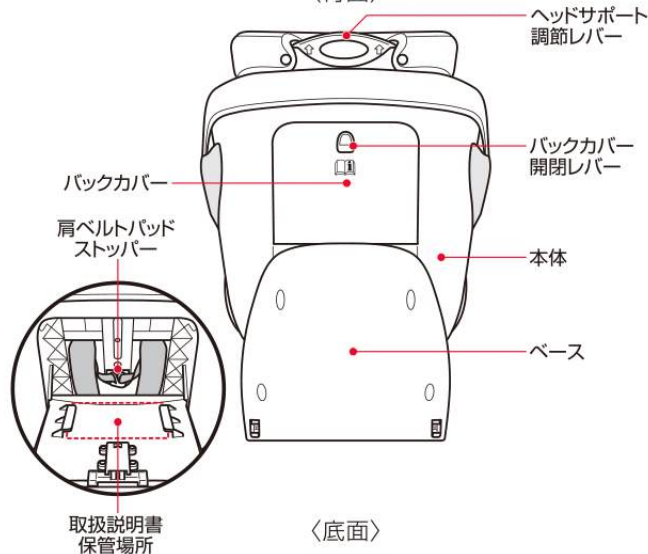


各部の名称

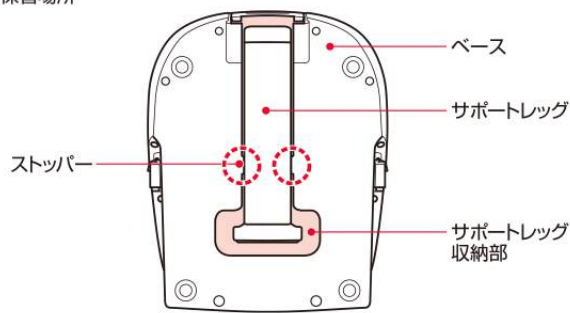
〈側面〉



〈背面〉



〈底面〉



本装置の使い方

※体重は目安です。お子様の身長に合わせてご使用ください。

チャイルドシートモード

身長 40～105cm

- 年齢の目安… 新生児～4歳頃
- 体重の目安… 約2.5～18kg

月齢15か月かつ身長76cmを超えるまでは、車両の進行方向に対して、必ず**後ろ向き**で使用。



※月齢15か月かつ身長が76cmを超えてから、車両の進行方向に対して前向きで使用できますが、できる限り「後ろ向き」での使用をお勧めします。



ISOFIXコネクタと**サポートレッグ**で取り付け、本装置の**肩・腰ベルト**、**バックル**でお子様を拘束します。



上記の条件を満たさないお子様には、絶対に使用しないでください。

ジュニアシートモード

身長 100～150cm

- 年齢の目安… 3歳～11歳頃
- 体重の目安… 約15～36kg

肩・腰ベルト、バックル、サポートレッグを収納し、インナークッション、パッド等を取り外して前向きで使用。



ISOFIXコネクタで取り付け、車両の**3点式シートベルト**でお子様を拘束します。

※ISOFIX取付金具の付いていない座席には、3点式シートベルトのみでも使用できます。ただし助手席には使用しないでください。



上記の条件を満たさないお子様には、絶対に使用しないでください。

取り付けできる座席

ISOFIX+サポートレッグで取り付けできる座席

ISOFIX取付金具が装備され、サポートレッグが接地できる座席。
車両の「取扱説明書」にi-Size適合、ISOFIX対応の表記や下記の表示マークがある座席。

※ISOFIX型チャイルドシートの取り付けを認可された座席に取り付けることができますが、ISOFIX取付金具を装備したすべての座席に取り付けられるものではありません。ご不明な場合は車両の「取扱説明書」をご確認いただくか、車両をご購入された販売店にお問い合わせください。

本装置のISOFIXサイズ等級は下記になります。車両の「取扱説明書」または車両をご購入された販売店で対応状況をご確認ください。

●後ろ向きで使用

サイズ等級	D
固定具	ISO/R2 チャイルドシートモード

●前向きで使用

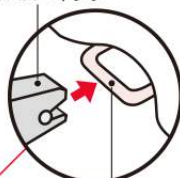
サイズ等級	B1	
固定具	ISO/F2X チャイルドシートモード	ISO/B2 ジュニアシートモード



サポートレッグ

※ジュニアシートモードでは、サポートレッグは使用しません。

ISOFIXコネクタ



ISOFIX取付金具

補足 ISOFIX取付金具は、通常2列目の左右座席に装備されています。ISOFIX取付金具が座席に隠れて見えない場合があります。

◀前方衝突時に、本装置が衝撃により、前方に倒れ込むのを防ぐためのものです。お子様の頭部移動量が少なくなり、その分衝撃を抑えます。

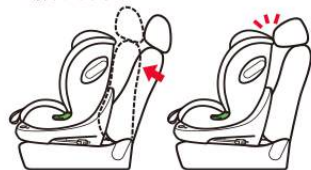
取り付けできない座席

●座面の幅が36cm以下、座面の奥行きが40cm以下の座席。



●座席と本装置の背もたれとの間に大きな隙間ができる座席、または車両のヘッドレストと本装置が干渉して、固定が不安定になる座席。

※座席の背もたれを起こしたり、ヘッドレストを上下に調節したり外すことで、取り付けられる場合があります。



●ISOFIX取付金具が装備されていない座席。(チャイルドシートモード)

●3点式シートベルトが装備されていない座席。(ジュニアシートモード)

●サポートレッグが接地するフロアに、座席のスライドレールや床下収納スペースがある座席。



●本装置が車両のドアトリム等に干渉して、ドアを閉めることができない座席。

●フロアに対して座席が低すぎたり、フロアの形状によりサポートレッグが正しく取り付けできない座席。

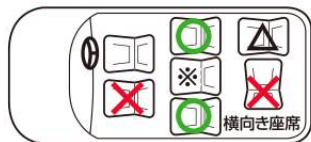


●運転操作や、視界のさまたげになる座席。

●緊急時に同乗者が脱出する際、さまたげになる座席。

●進行方向に対して、横向きや後ろ向きの座席。

●助手席には絶対に取り付けしないでください。



○ 取り付け可能 × 取り付け不可

△ ジュニアシートモードのみ取り付け可能

※ ISOFIX取付金具が、装備された座席の場合は○。

※ 弊社では、3人掛け中央座席の適合確認はおこなっていません。

安全にご使用いただくために



記載内容を守らないと、生命の危機または重大な傷害につながるおそれがあります。

月齢15ヵ月かつ身長76cmを超えるまでは、車両の進行方向に対して、必ず後ろ向きで使用してください。

- 本装置は「取扱説明書」通りに取り付けてください。
- エアバッグが装備されている座席では、本装置は使用できません。衝突時、エアバッグの作動により、衝撃を受け非常に危険です。
※サイドエアバッグやカーテンエアバッグのみ場合は、使用できます。

- 本装置のバックルを外した状態での使用は危険ですので、絶対にしないでください。
- 本装置の肩ベルトが緩んだ状態で、使用しないでください。肩ベルトに緩みがあると首に巻き付いて窒息するおそれがありますので、必ず正しく調節してご使用ください。
- 本装置を取り付けた後に、座席のリクライニング操作をされた場合、再度取り付けの緩み等がないか確認をしてください。
- お子様を乗せる際は、骨盤が腰ベルトで拘束されるように低い位置で着用し、肩ベルトもお子様に合わせて、適切な位置で拘束されるようにしてください。
- サポートレッグを収納した状態で絶対に使用しないでください。衝突時に機能が発揮できません。必ずサポートレッグを底面から引き起こし、高さを調節してからご使用ください。

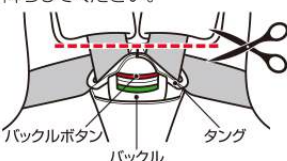
- バックルボタンの強さは安全規格上強めに設定されていますが、お子様の力でもタンクが外れる場合があります。タンクがバックルに確実にロックされているか必ず確認していただき、お子様にバックルボタンを押さないように指導してください。
- お子様の負担を考慮して、1時間以上連続して使用しないでください。

- お子様を乗せたまま車両から離れないでください。不慮の事故につながるおそれがあります。



- 取り付け・取り外しの際は、本装置の可動部やISOFIX・金属部に手や指等を入れたり、挟まないように十分注意しておこなってください。
- 走行中にお子様の乗せ降ろしや、本装置の調節等は危険ですので絶対にしないでください。
- 拘束機能に影響を与えるおそれがありますので、本装置のカバー・クッション・ベルト類を外して使用しないでください（インナークッションを除く）。また、他のものと交換しないでください。
- 回転・リクライニングのロックがされていない状態で、使用しないでください。衝突時や急ブレーキをかけた際、本装置が動いて不慮の事故につながるおそれがあります。
- 車両のシートベルトや本装置の肩・腰ベルトが傷ついた場合、衝突時に

十分な効果が得られない場合がありますので、使用しないでください。

- 落下や衝突等により本装置が衝撃を受けた場合、外観に異常がなくても破損のおそれがありますので使用しないでください。
- 本装置を屋外に放置しないでください。日光や雨などで機能を損ねる原因になる場合があります。
- 車両の座席シートの材質・形状によっては、キズや跡が付く場合があります。とくに本革シート等の場合は、本装置と座席シートの間に、別売りの保護マット等を敷いてご使用ください。
- 緊急時は慌てず速やかにお子様を救出してください。バックルボタン（赤いボタン）を下に押ししても、タンクがバックルから解除できない場合は、本装置のベルトをはさみ等で切って、お子様を降ろしてください。


安全にご使用いただくために

▲注意

記載内容を守らないと、傷害または事故につながるおそれがあります。

- 本装置は車両専用ですので、車両以外での使用はしないでください。
- 走行前に本装置が確実に固定されているか、必ず確認をしてからご使用ください。
- お子様が転倒する危険がありますので、本装置の上で立ち上がった、中腰にさせないようにしてください。
- パッド類など本装置の部品が破損した状態で使用しないでください。
- 本装置のベルトがぬじれたり、緩んだ状態で使用しないでください。
- 本装置に重いものを載せないでください。
- 炎天下での駐車時には、金属部分や樹脂部分などが熱くなり、やけどをするおそれがあります。お子様を乗せる際は、各部に触れて熱くなっていないかを確認した上でご使用ください。
- 本装置を取り付ける際、車両の座席やドアに挟まれたりしないように注意してください。
- 本装置のバックルや可動部分に、水やジュース等をこぼさないでください。また、ゴミや食べかす等が入らないように注意してください。万一入った場合は、「お客様相談窓口」へご相談ください。
- 可動座席または車両のドアに、本装置の剛性部分（プラスチック部分等）を挟まないでください。
- お子様に本装置の取り付けや、操作をさせないでください。
- ホコリの多い場所に放置しないでください。ISOFIXコネクタ等の可動部分が詰まり、故障の原因になる場合があります。
- 車両内に、傷害を与えるおそれのあるものを放置しないでください。



万一の際に、お子様や同乗者がケガをするおそれがあり危険です。

- 本装置にお子様を乗せない場合でも、安全のため必ずISOFIXコネクタまたは3点式シートベルトで固定してください。衝突時や急ブレーキをかけた際、本装置が移動してケガをするおそれがあります。



- サポートレグが接地するフロア面が、水平であることを確認してください。水平でない場合、安定しないことがあります。他の座席でご使用ください。

- 肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節ボタンが破損するおそれがありますので、手前に引いてください。



- 極端な厚着や防寒具の上から本装置の肩・腰ベルトを装着すると、肩・腰ベルトが緩むおそれがあります。お子様に肩・腰ベルトを装着した上から寒さ対策をしてください。



- 定期的に本装置に異常がないか、確認してください。

- 本体カバーやパッド・クッション類のお手入れに、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。

- 改造・修理はしないでください。破損・故障の原因になります。

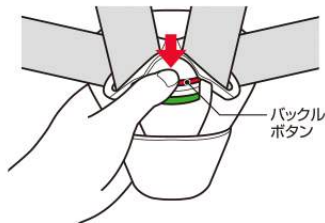


各部の使い方

バックル・タング

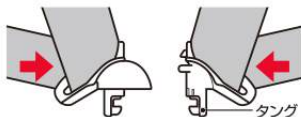
ロック解除の場合

バックルボタン(赤いボタン)を下に押し、タングはバックルから解除されます。

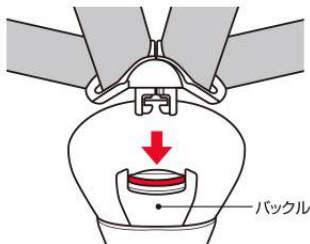


ロックする場合

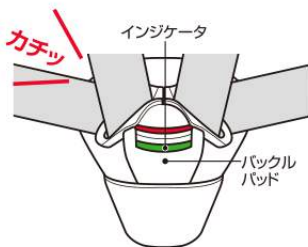
左右のタングを合わせます。



タングをバックルに、「カチッ」と音がするまで確実に差し込みます。ロックすると、緑色のインジケータが表示されます。



警告 バックルにタングをセットした際、「カチッ」と音がして、緑色のインジケータが表示されたことを確認してください。緑色のインジケータが表示されない場合は使用を中止し、「お客様相談窓口」へご相談ください。

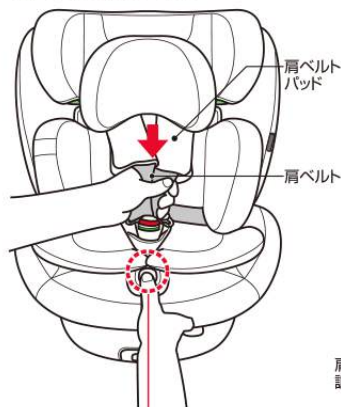


注意 バックル(タング差し込み口)に飲み物や食べかす等が入らないように注意してください。

肩ベルト

肩ベルトを緩める

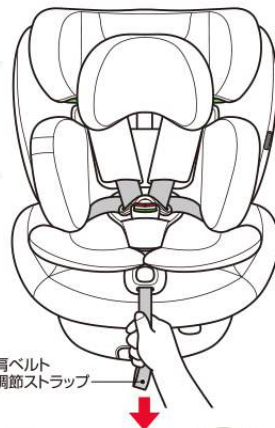
肩ベルト調節ボタンを押しながら、左右の肩ベルト(肩ベルトパッドの下)を持って手前に引っ張ります。※肩ベルトパッドを持って引っ張っても、肩ベルトは緩みません。



注意 左右の肩ベルトの長さが均等になるように、左右の肩ベルトを同時に引き出してください。

肩ベルトを締める

肩ベルト調節ストラップを、手前にゆっくり引っ張ります。



補足 調節の目安は、お子様の肩と肩ベルトパッドの間に指1本が入る程度に調節してください。



注意 肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節ボタンが破損するおそれがありますので、必ず手前に引いてください。

各部の使い方

ヘッドサポート

ヘッドサポート(肩ベルトと連動)の調節

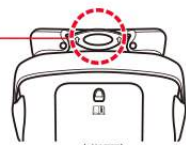
肩ベルトを緩め(P16参照)、ヘッドサポート調節レバーを持ち上げて、ヘッドサポート・肩ベルトを同時に調節することができます。

ヘッドサポートをお子様の身体に合った位置に調節してください。調節後は、確実にロックされていることを確認してください。

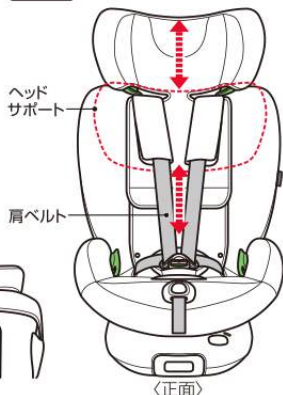
補足 肩ベルトを緩めてからヘッドサポートの高さを調節してください。



ヘッドサポート調節レバー



〈背面〉



ヘッドサポート

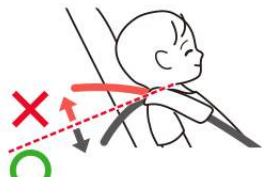
肩ベルト

〈正面〉

肩ベルト位置の目安

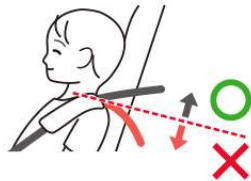
後ろ向き使用時

お子様の肩と同じ高さか、やや低い位置になるように調節してください。



前向き使用時

お子様の肩と同じ高さか、やや高い位置になるように調節してください。



リクライニングレバー

リクライニングレバーを引きながら、本体を前後にスライドさせてリクライニング角度(前向き:1~5/後ろ向き:1~5)を調節できます。

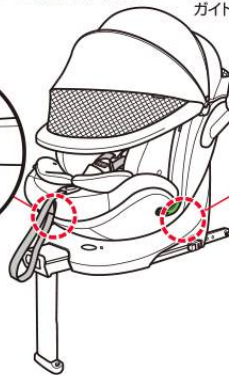
補足 後ろ向きでご使用する場合は、お子さまの負担が少ない低い位置での使用をお勧めします。

リクライニングレバーを離すと、本体はロックされます。



〈座面裏〉

リクライニングレバー



リクライニングガイドマーク

後ろ向き

前向き

月齢15ヵ月かつ身長76cmを超えるまで必ず後ろ向きでご使用ください。

警告 本体を揺すって、ロックされていることを確認してください。確実にロックされていない状態では、決して使用しないでください。

注意 リクライニングさせる時に、お子様が手や指などを挟まないように注意してください。走行中はリクライニング操作をしないでください。

各部の使い方

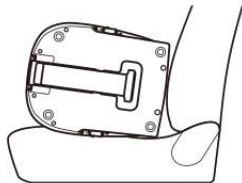
サポートレグ

設置のしかた

1

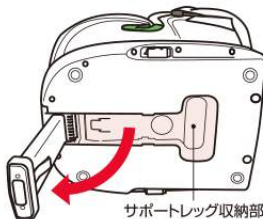
本装置を横に寝かせます。

※あらかじめ寝かせるスペースを確保してください。



2

サポートレグ収納部からサポートレグを起こします。



3

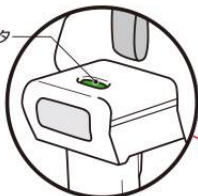
本装置を寝かせた状態から起こします。

サポートレグロック解除ボタンを押しながらベースから引き出します。

サポートレグのインジケータが緑色になるまで手前に引き出します。



インジケータ



引き出し・収納する際に、ベースと収納部との隙間に手や指などを挟まないように注意してください。



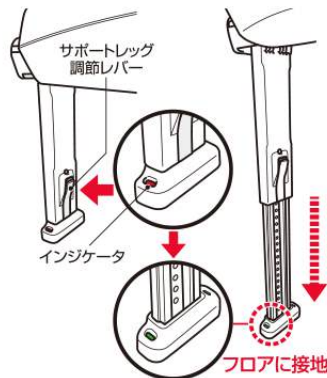
4

サポートレグ調節レバーを押すとロックが解除され、サポートレグが下がります。

車両のフロアにしっかりと接地するとインジケータが緑色に変わります。

補足

ご使用の際は、ISOFIXコネクタを取り付けてからサポートレグの高さ調節をしてください。



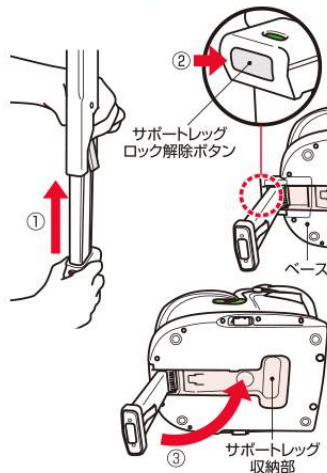
収納のしかた

サポートレグ調節レバーを押してロックを解除します。

- ①サポートレグを最も短くします。
- ②サポートレグロック解除ボタンを押して、ベース側に押し込みます。
- ③本装置を横に寝かせ、サポートレグ収納部側に倒します。

補足

後ろ向きでご使用される場合は、前向きで取り付けてから後ろ向きに回転(P21・22参照)させてください。
(キャブテンシート・アームレスト付座席を除く)



各部の使い方



動画

回転ボタン

回転操作は、サポートレグを引き出してからおこないます。

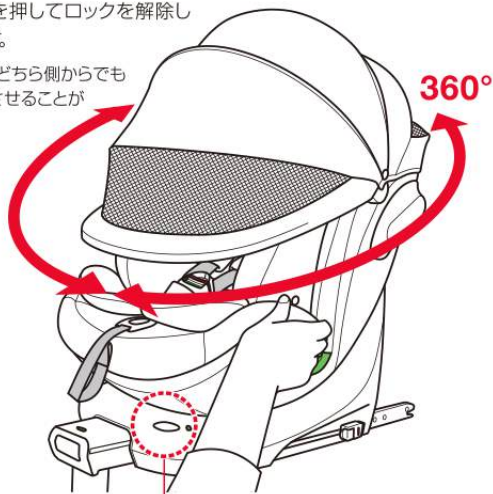
サポートレグのインジケータが緑色になっていることを確認します。

補足

サポートレグのインジケータが緑色になっていない場合は、回転ボタンを押しても回転しません。

回転ボタンを押してロックを解除し回転させます。

※本体を左右どちら側からでも360°回転させることができます。



インジケータ

回転ボタン

サポートレグ



回転し始めたら回転ボタンから指を離し、前向き・後ろ向きにします。

※ロックする位置は前向き・後ろ向きの2カ所です。その際に、ベースのインジケータが緑色になっていることを確認してください。

横向き(90°)でも軽く止まりますが、お子様の乗せ降ろしの時のみにご使用ください。

月齢15ヵ月かつ身長76cmを超えるまで必ず後ろ向きでご使用ください。



横向きでは絶対に走行しないでください。

警告

本体を横向きにしたままで、絶対に走行しないでください。本来の機能を果たさず、たいへん危険です。

走行する前に、本体がロックされて回転しないことを必ず確認してください。確実にロックされていない状態では決して使用しないでください。

後ろ向き



前向き



横向き

90°



注意

回転させる時に、手や指などを挟まないように、十分注意してください。走行中に回転操作はしないでください。

各部の使い方

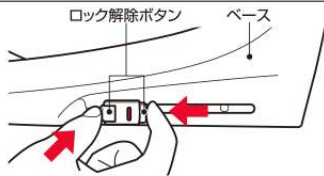
ISOFIXコネクタ

ロックする

1

ISOFIXのロック解除ボタンを押しながら、左右のISOFIXコネクタをベースの後ろ側に、目一杯押し出してください。

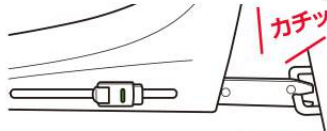
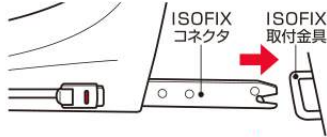
ロック解除ボタンを離すと、ISOFIXコネクタがロックされ、戻らなくなります。



2

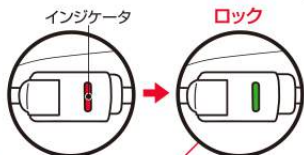
ISOFIXコネクタの先端の凹部を座席側のISOFIX取付金具に合わせ、「カチッ」と音がするまで差し込むとロックされます。

ロックするとインジケータが赤色から緑色に変わります。



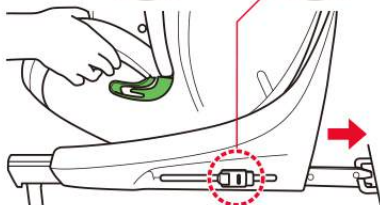
補足

インジケータが緑色にならない場合は、ロックされていません。再度やり直してください。



3

左右それぞれのインジケータが、緑色に変わったことを確認できたら、座席側にゆっくりと押し込んでください。



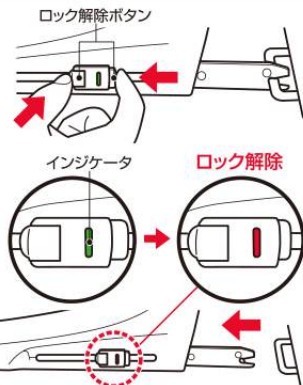
ロックを解除する

ISOFIXのロック解除ボタンを押すと、ロックは解除されます。ロックが解除されるとインジケータが緑色から赤色に変わります。

補足

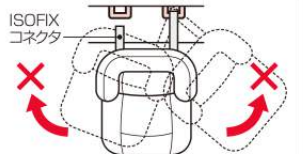
ロックを解除する際は、ロック解除ボタンを左右同時に押ししてください。

ロックが解除されたら、ISOFIXコネクタを引き戻してベースに収納してください。



注意

取り付け・取り外しの際、ISOFIXコネクタが片側のみ接続された状態で本体をひねったり、上下左右に揺ると、ISOFIXコネクタが破損しますので絶対におやめください。



ISOFIXガイドキャップ

ISOFIX取付金具が座席の奥で見えない場合や、ISOFIXコネクタが差し込みにくい場合にご使用ください。

※ISOFIX取付金具の位置が見やすい場合は、必ずしも取り付ける必要はありません。また、すでにキャップの付いた車両には取り付けるは必要ありません。

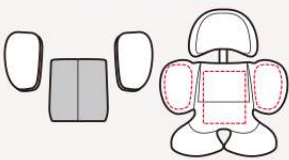




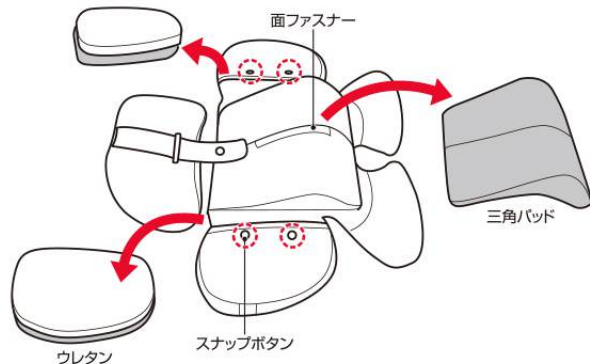
各部の使い方

インナークッション

身長が75cm以下のお子様は、必ずインナークッションを取り付けてご使用ください。
インナークッションを取り外してもよい条件は76cm以上(12か月頃)、腰と首がすわっていることです。

身長が60cm以上のお子様は、体格、着衣により窮屈な状態でしたら、ウレタンや三角パッドを取り外して調節してください。

身長 40cm～	60～75cm以下	76cm～
必ず使用する		使用しない
	※お子様の成長に合わせて、ウレタンや三角パッドを取り外してご使用ください。	



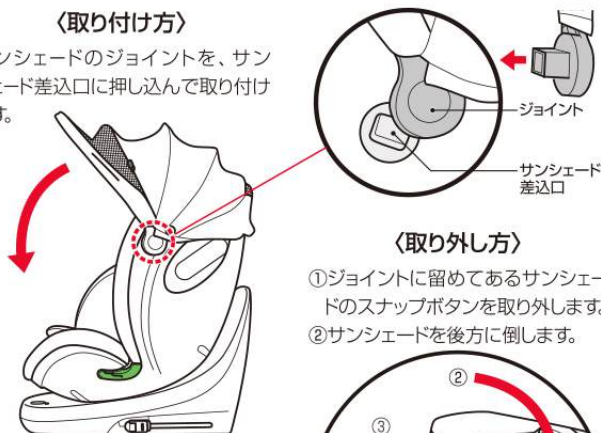
サンシェード

〈ご使用の目安〉

本装置からお子様の頭が出る場合は、ご使用いただけません。

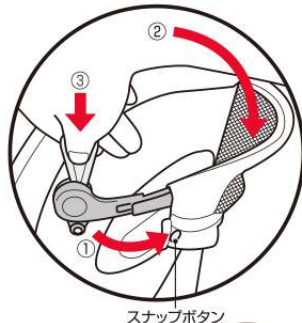
〈取り付け方〉

サンシェードのジョイントを、サンシェード差込口に押し込んで取り付けます。



〈取り外し方〉

- ①ジョイントに留めてあるサンシェードのスナップボタンを取り外します。
- ②サンシェードを後方に倒します。

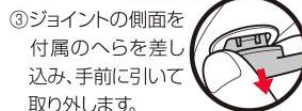


サンシェードを取り付け・取り外す時に、指を挟まないようにご注意ください。

走行時は、窓を開けての使用はしないでください。サンシェードが動くなどして、お子様がケガをするおそれがあります。

サンシェードを開閉させる時に指や手などを挟まないようにご注意ください。

サンシェードのみを持って持ち運ばないでください。破損・事故のおそれがあります。



チャイルドシートモードとしての使い方

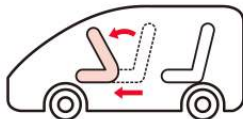
取り付ける前に

作業スペースの確保

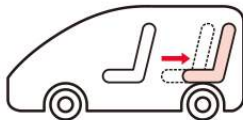
後部ドアが全開可能な平坦な場所で取り付けてください。



前席を前に倒したり、前にスライドさせて作業スペースを確保してください。



チャイルドシートを取り付ける座席が前後に調節できる場合は、座席をいちばん後ろに下げてください。



座席の準備

後部座席の背もたれがリクライニングできる場合は、本装置と背もたれとの隙間ができるだけ少なくなるように、調節してください。



背もたれがリクライニングできる座席で、ISOFIX金具が見にくい場合は、背もたれを倒してISOFIXコネクタを取り付けてください。



ISOFIX金具の周辺に障害物がないか、車両のシートベルトが挟まっていないかなどを、確認してから取り付けてください。



本装置を車両に取り付ける

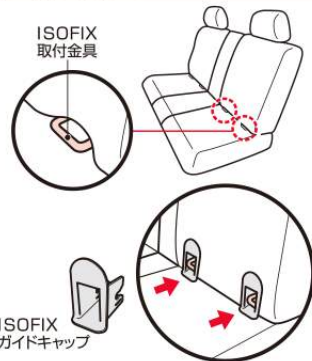
1

ISOFIX取付金具の位置を確認してください。

補足 ISOFIX取付金具は、一般的に背もたれと座席の間に装備されています。

ISOFIX取付金具が座席に隠れて見にくい場合は、付属のISOFIXガイドキャップを使用すると取り付けやすくなります。その際、上下の向きに注意して取り付けてください。

※ISOFIXガイドキャップは、ISOFIX取付金具の位置が見やすい場合は、必ずしも取り付ける必要はありません。また、すでにキャップの付いた車両には取り付ける必要はありません。



2

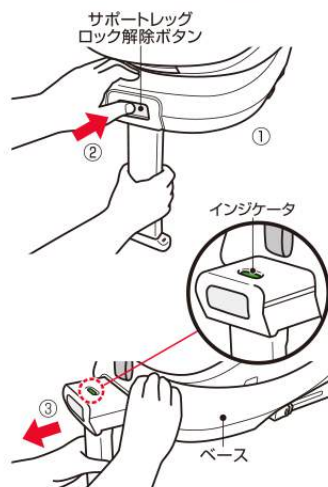
本装置を横に寝かせます。

※あらかじめ寝かせるスペースを確保してください。

①サポートレッグ収納部からサポートレッグを起こします。

②サポートレッグロック解除ボタンを押してベースから引き出します。

③サポートレッグのインジケータが赤色から緑色に変わるまで手前に引き出します。



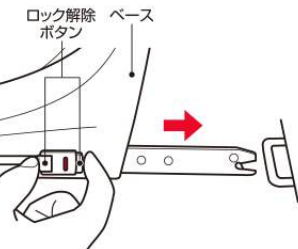
チャイルドシートモードとしての使い方

本装置を車両に取り付ける

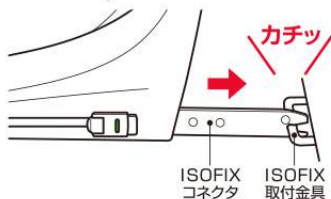
3

ISOFIXのロック解除ボタンを押しながら、左右のISOFIXコネクタをベースの後ろ側に、目一杯押し出してください。

ロック解除ボタンを離すと、ISOFIXコネクタが戻らなくなります。



ISOFIXコネクタの先端をISOFIX取付金具に合わせ、「カチッ」と音がするまで差し込むとロックされます。

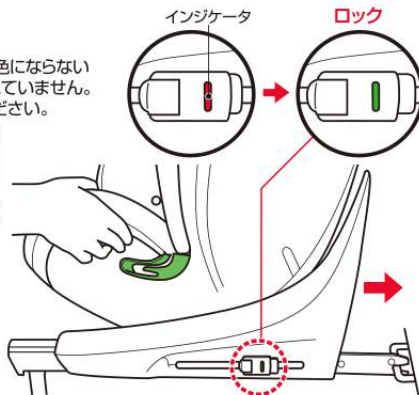


ロックされるとインジケータは赤色から緑色に変わります。

補足

インジケータが緑色にならない場合は、ロックされていません。再度やり直してください。

座席の形状により、ISOFIX取付金具にISOFIXコネクタが届かない場合は、座席の背もたれを倒して取り付け、取り付けた後に背もたれを起こしてください。



4

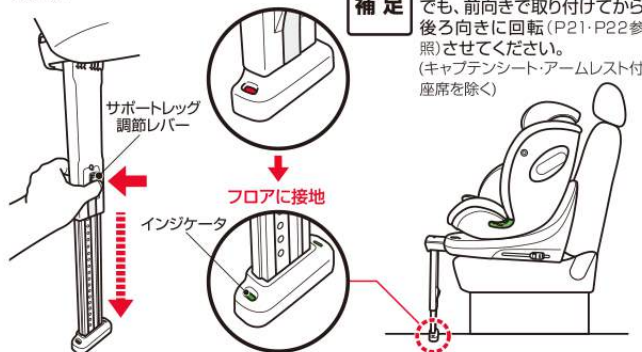
左右それぞれのインジケータが、緑色に変わったことを確認できたら、座席にゆっくり押し込んでください。



5

サポートレッグ調節レバーを押すとロックが解除され、サポートレッグが下がります。

車両のフロアにしっかりと接地するとインジケータが赤色から緑色に変わります。



警告

サポートレッグが車両のフロアに接地していない状態で、絶対に使用しないでください。

注意

ISOFIXコネクタの可動部に指を入れないように、注意して取り付けてください。

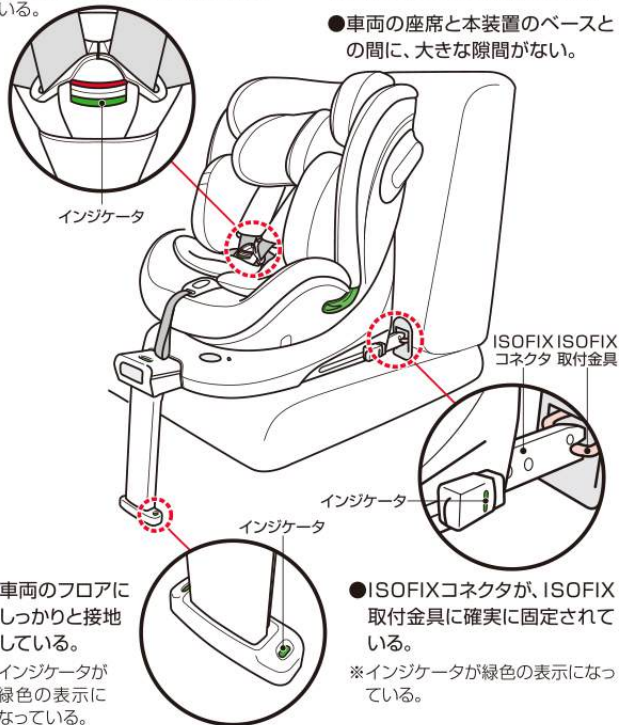
補足

後ろ向きでご使用される場合でも、前向きで取り付けてから後ろ向きに回転(P21・P22参照)させてください。(キャプテンシート・アームレスト付座席を除く)

お子様を乗せる前に

車両に確実に取り付けられているか、必ず確認をしてください。

- バックルにタンクを差し込んだ際、肩・腰ベルトにねじれがない。
※緑色のインジケータが表示されている。
- 本装置を前後に軽く揺すってみて、ぐらつきがなく安定している。
※左右のぐらつきは問題ありません。
- 車両の座席と本装置のベースとの間に、大きな隙間がない。



- 車両のフロアにしっかりと接地している。
※インジケータが緑色の表示になっている。

- ISOFIXコネクタが、ISOFIX取付金具に確実に固定されている。
※インジケータが緑色の表示になっている。

お子様の乗せ方



1

お子様を乗せやすい位置に本体を回転させます。(P21・P22参照)

2

肩ベルト調節ボタンを押しながら、左右の肩ベルト(肩ベルトの下)を手前に引っ張って肩ベルトを緩めます。

※肩ベルトパッドの位置を調節することはできません。肩ベルトパッドを引っ張っても肩ベルトは緩みません。



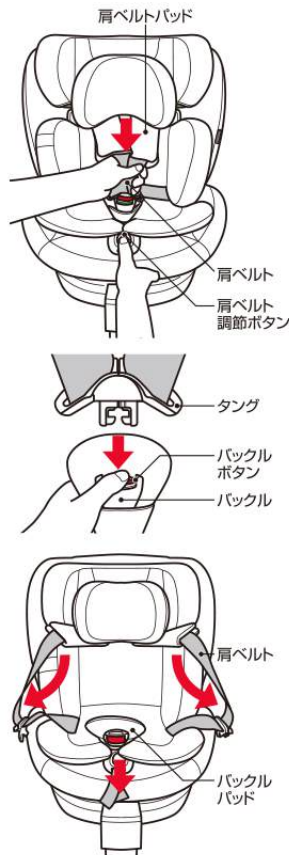
左右の肩ベルトの長さが均等になるように、左右の肩ベルトを同時に引き出してください。

3

バックルボタン(赤いボタン)を下に押し、タンクはバックルから解除されます。

4

肩ベルトを左右に開き、バックル・バックルパッドを前に倒し、お子様が座れるスペースを確保します。

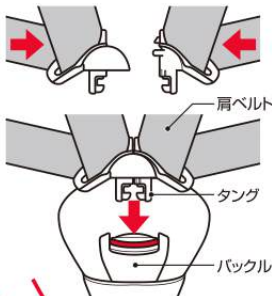


お子様の乗せ方

5

バックルが、お子様の股の間に収まるように深く座らせ、肩ベルトの下にお子様の両腕を通します。

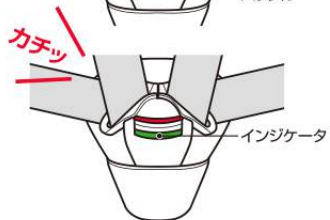
左右のタングを合わせます。タングをバックルに、「カチッ」と音がするまで確実に差し込みます。ロックすると、緑色のインジケータが表示されます。



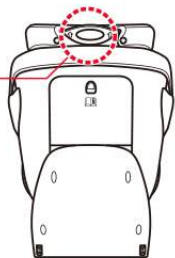
6

肩ベルトの高さを確認して、位置が合っていない場合は、ヘッドサポートの高さを調節してください。

(P17参照)



ヘッドサポート
調節レバー



バックルとタングをセットした際、「カチッ」と音がしたこと、緑色のインジケータが表示されていることを確認してください。

補足

ヘッドサポートの高さは、肩ベルトを緩めてから調節してください。

7

肩・腰ベルトに緩みやねじれがないことを確かめてから、肩ベルト調節ストラップを手前にゆっくり引っ張って、肩ベルトを締め、お子様を拘束してください。



月齢15ヵ月かつ
身長76cm以下のお子様は
必ず後ろ向きで使用



肩・腰ベルトにねじれができないように、また指を挟まないように十分注意してください。

肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節ボタンが破損するおそれがあります。必ず手前に引いてください。

補足

肩ベルトの調節の目安は、お子様の肩と肩ベルトの間に指1本が入る程度に調節してください。

お子様の降ろし方

お子様を降ろしやすい位置に本体を回転させます。(P21・P22参照)

肩ベルト調節ボタンを押して肩ベルトを緩めます。(P16参照)

バックルボタンを押してロックを解除し、肩ベルトを左右に開きます。(P15参照) お子様の腕が肩ベルトに引っ掛からないように注意しながら、ゆっくりとお子様を降ろしてください。

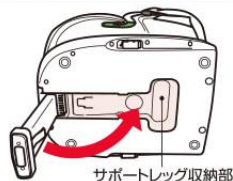
ジュニアシートモードとしての使い方

取り付ける前に

必ずサポートレッグを収納し、クッション、パッド類を取り外します。

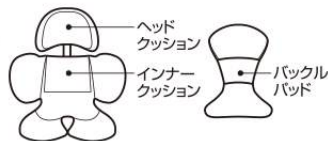
1

サポートレッグをサポートレッグ収納部に収納します。(P19・P20参照)
肩ベルトを緩め(P16参照)、タングをバックルから解除(P15参照)します。



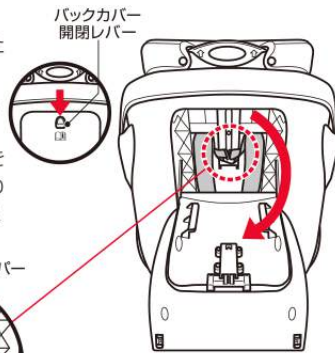
2

ヘッドクッション・インナークッションを取り外します。バックルパッドは、バックルから引き抜きます。



3

リクライニング角度を最も起こした状態にします。(P18参照)
バックカバー開閉レバーを押して、バックカバーを開きます。
肩ベルトパッドのスナップボタンを外し、肩ベルトパッドストッパーを取り外し、肩ベルトパッドを引き抜きます。
バックカバーを閉めます。



補足 取り外したヘッドクッション・インナークッション、バックルパッド・肩ベルトパッドはなくさないように、大切に保管してください。

35

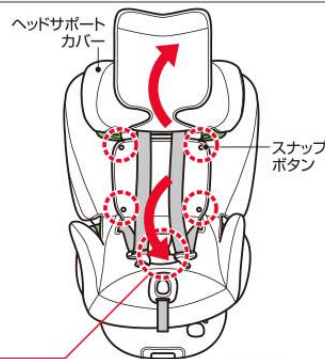


動画

肩ベルトパッド・タングとバックルを収納します。

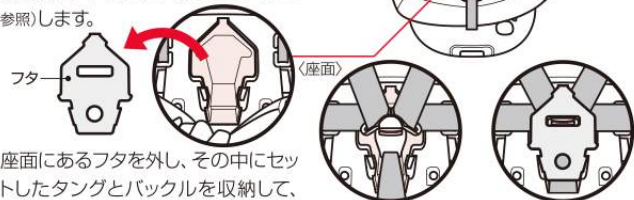
4

ヘッドサポートカバーの背もたれ部分を引き上げます。
背もたれのスナップボタン(4カ所)を外して、座面側に倒します。



5

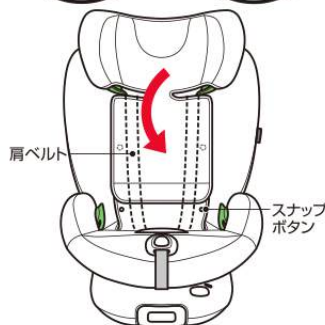
バックルを本体カバーの内側へ引き抜き、タングをバックルにセット(P15参照)します。



座面にあるフタを外し、その中にセットしたタングとバックルを収納して、フタを閉めます。

6

肩ベルトを背もたれのカバーの内側に入れ、スナップボタン(4カ所)を取り付けます。
ヘッドサポートカバーの背もたれ部分を引き下げます。



注意 肩ベルト調節ストラップは、本装置から引き抜かないで本体カバーに収納してください。

36

ジュニアシートモードとしての使い方

本装置を車両に取り付ける

「本装置を車両に取り付ける(P28・P29)」を参照し、本装置を取り付けてください。

※サポートレッグは使用しません。

※ISOFIX取付金具の付いてない座席には、3点式シートベルトのみでもご使用できます。



お子様の乗せ方

1

お子様を深く座らせ、ヘッドサポートを頭の高さに合わせて調節します。(P17参照)

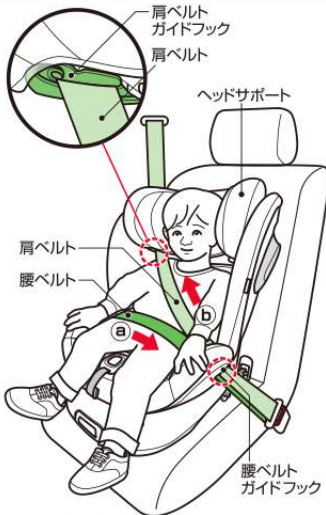
肩ベルトガイドフックに車両の肩ベルトにねじれないように、お子様の首に掛からないように注意して通します。

2

車両の腰ベルトが、お子様の骨盤の低い位置に掛かるように、左右の腰ベルトガイドフックに通し、車両のタンクとバックルをセットします。

3

車両の腰ベルトを引っ張り(Ⓐ)、車両の肩ベルトを巻き戻して(Ⓑ)シートベルトに緩みがないように、確実に装着してください。



注意

お子様の手や腕を、車両のシートベルトで挟まないように、車両のシートベルトの上になるようにしてください。

お子様の降ろし方

車両のバックルボタンを押してロックを解除し、お子様を降ろしてください。

37

カバー類の取り外し方

1

肩ベルトを緩め(P16参照)、タンクをバックルから解除(P15参照)し、ヘッドサポートを引き上げます。(P17参照)

2

ヘッドクッション・インナークッションを取り外します。バックルパッドは、バックルから引き抜きます。

3

リクライニング角度を最も起こした状態にします。(P18参照)

バックカバーを開きます。

肩ベルトパッドストッパーを取り外し、肩ベルトパッドのスナップボタンを外し、肩ベルトパッドを引き抜きます。

4

ヘッドサポートカバーは、背面のスナップボタン(2カ所)とフックに掛かっているゴムを外して取り外します。

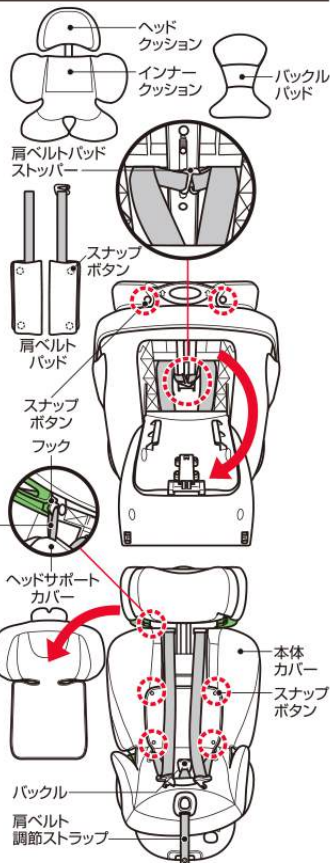
5

本体カバーは、肩ベルト調節ストラップとバックルを引き抜き、背もたれのスナップボタン(4カ所)を外して取り外します。



注意

バックル・タンク、ベルトやストラップ類は、本体から取り外さないでください。



カバー類の取り付け方

1

肩ベルトを緩め(P16参照)、ヘッドサポートを引き上げます。(P17参照)

肩ベルト・バックル・肩ベルト調節ストラップを、本体カバーの表側に引き出し、背もたれのスナップボタン(4ヶ所)を取り付けます。

2

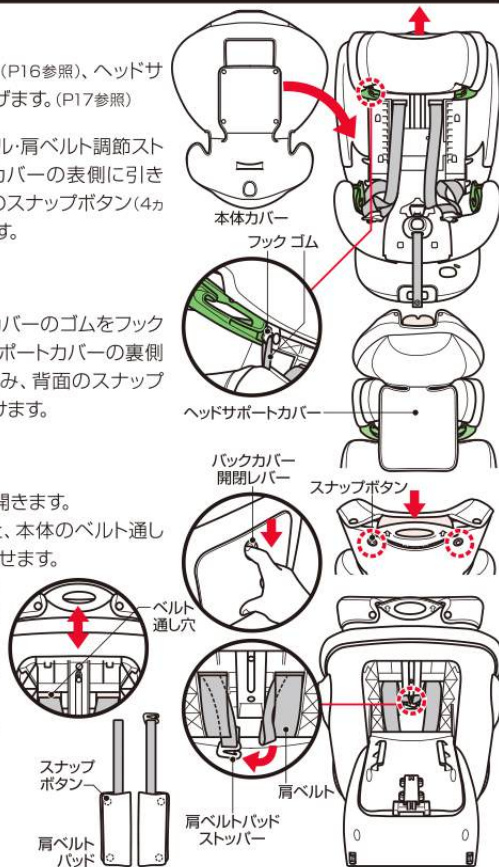
ヘッドサポートカバーのゴムをフックに通し、ヘッドサポートカバーの裏側中央部を差し込み、背面のスナップボタンで取り付けます。

3

バックカバーを開きます。ヘッドサポートと、本体のベルト通し穴の高さを合わせます。

肩ベルトパッドストッパーを、肩ベルトの内側に通して取り付けます。

バックカバーを閉めます。



4

本体カバーを、付属のへらで本体の中に押し込んでください。

5

肩ベルトパッドのスナップボタンで、肩ベルトに取り付けます。
※スナップボタンが付いている方を、外側にしてください。

6

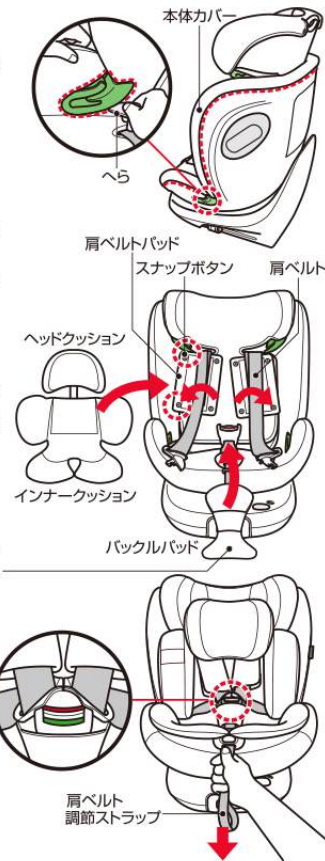
ヘッドクッションとインナークッションにウレタンと三角パッドを入れ(P25参照)、本体に取り付けます。

7

バックルパッドをバックルに取り付け、下部は本体カバーの中に押し込みます。

8

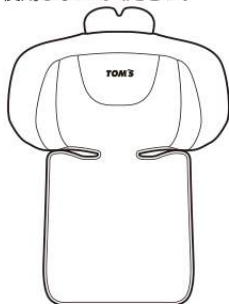
バックルパッドを引き下げ、左右のタングを合わせて、バックルにセットし(P15参照)、肩ベルトを締めます。(P16参照)



お手入れ

カバー・パッド・クッション

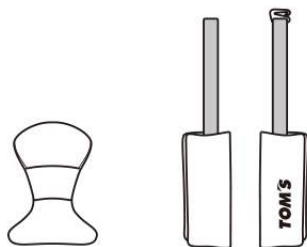
- 中性洗剤を洗ってください。
- 洗濯機(手洗いモード)で洗う場合は、必ず洗濯ネットを使用してください。
- 塩素系漂白剤は色落ちしますので、使用しないでください。
- しっかり乾くまで使用しないでください。
- 脱水機・衣類乾燥機、アイロンは使用しないでください。



ヘッドサポートカバー

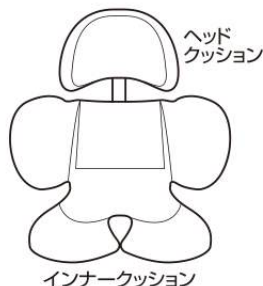


本体カバー



バックルパッド

肩ベルトパッド

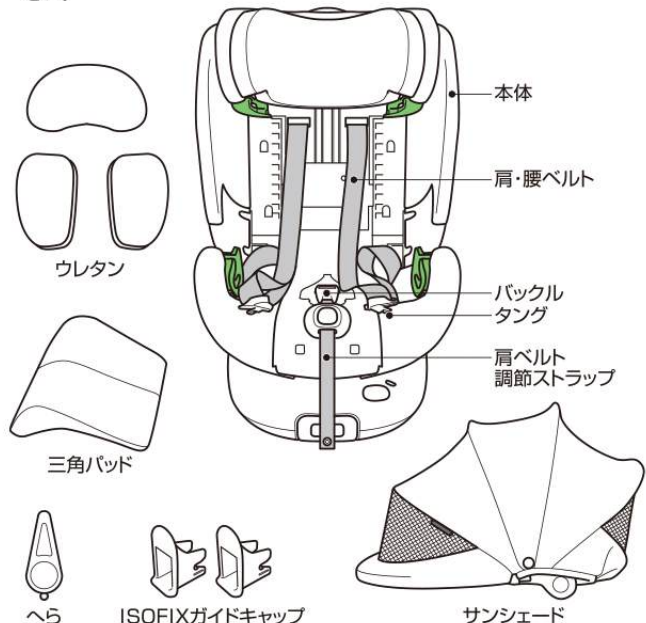


インナークッション



本体・ベルト等

- 乾拭き、またはよく絞った布で水拭きしてください。
- 風通しのよい日陰で干してください。
- しっかり乾くまで使用しないでください。
- バックル・タンクに付いた水分や汚れは、しっかり拭き取って乾かしてください。



注意 タング・バックル、肩・腰ベルト、肩ベルト調節ストラップは、本体から取り外さないでください。



困ったときには

弊社ホームページ「よくあるご質問 Q&A(QRコード→)」をご覧ください。

チャイルドシートを取り付けたが、安定せずグラグラする。

- 本体を軽く前後に揺すってみて、本装置が前後に動かないこと、ISO FIXのインジケータが緑色になっていることを確認してください。
※左右に動く場合は、使用上問題はありません。
- 車両の座席がリクライニングできる場合、背もたれを前側に起こすことで、しっかり固定できる場合があります。

肩ベルトが緩まない。

- 肩ベルトパッドと一緒に肩ベルトを引いた場合は、肩ベルトは緩みません。肩ベルト調節ボタンを押しながら、肩ベルトパッド下側の肩ベルト(左右)のみを引っ張ってください。(P16参照)

ヘッドサポートが上がらない。

- 肩ベルトを十分緩めてから操作してください。(P16参照)

バックルにタングが入らない。

- バックル(タングの差し込み口)にゴミや水分等が入ったために、バックル解除ボタンが機能しない場合があります。ゴミや水分等を取り除いてもバックルにタングが入らない場合は、「お客様相談窓口」までお問い合わせください。
- バックルの差し込み口に潤滑スプレーを吹き付け、バックルにタングを数回抜き差ししてください。

肩ベルトがねじれて、タングが逆向きになった。

- 肩ベルトを斜めに折って、折った端の方からタングを通してください。

運転席側か助手席側か、どちらに取り付けた方がいいか。

- 助手席の後部をお勧めします。信号などの停車時にお子様の様子を確認しただけたり、お子様の乗せ降ろしが歩道側のできるので、より安全です。



解決しない場合は「お客様相談窓口」(0120-034-017)までお問い合わせください。

ISOFIXを取り付けたら、座面の前側が浮いている。

- 座面に手のひらが入る程度であれば問題ありません。それ以上であれば、背もたれを起こして再度取り付け直してください。お子様を乗せて、座面が座席に接地していることを確認してください。

回転ボタンを押しても回転しない。

- サポートレグが収納された状態で、本体を回転させることはできません。サポートレグのインジケータが緑色になるまで引き出してから、回転ボタンを押して本体を回転させてください。

肩ベルトがきつい。

- インナークッションを取り外してください。
- 肩ベルトの高さがお子様の肩の位置に合っていますか？ヘッドサポート(肩ベルトと連動)の高さを確認してください。(P17参照)

子どもの服が厚いためか、身体が窮屈そう。

- 肩ベルトを緩めて調節してください。(P16参照)
- インナークッションまたはウレタンを取り外してください。
- 厚手の衣類はしっかり拘束することが難しくなりますので、できるだけ避けてください。寒い場合は、拘束した上から防寒対策をしてください。

カバー・パッド類やインナークッションを新たに購入したい。

- 弊社ホームページからご購入ください。または「お客様相談窓口」まで、お問い合わせください。

廃棄したい。

- お住まいの各自自治体の規定に従い処分廃棄してください。
- 本装置を落としたり強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくとも決して使用しないでください。

保証規定

- ① 本製品の品質保証期間は、お買い上げになった日より1年間です。
- ② 保証期間内には、パーツの欠品、加工不良などメーカーの責任によるものは無償保証といたしますが、お客様の責任によるものは保証いたしかねます。
- ③ 保証期間内でも、次の場合は保証対象外とさせていただきます。
 - フレームおよびプラスチック部品の自然劣化による変色。
 - ご使用にともなう傷ややぶれ、変色。
 - 天災地変や、事故などによる故障や損傷。
 - 有償修理時に要する発送費。
 - 保証書および、レシートまたは販売証明書のご提示がない場合。
 - 部品の紛失。
 - 一般家庭以外で、業務などに使用されて故障した場合。
 - 間違った使い方や改造、不適切な修理、手入れ不良による故障や損傷。
 - 保証書に製品名・お買い上げ日・お客様名・販売店名のご記入がない場合や、字句を書き換えられている場合。
- ④ 原則として、一度ご使用になった製品はお取り替えできません。また、パーツ欠品・加工不良のものを除き保証いたしかねます。
- ⑤ 製品の故障・損傷から派生する間接的な損傷や損害は、保証の対象外となります。
- ⑥ 事故や落下等で強い衝撃を受けた製品は、保証の対象外となります。
- ⑦ 保証書は日本国内においてのみ有効です。海外からの保証サービスは受付できません。
- ⑧ ご贈答、ご移転で保証書に記入してある販売店に保証サービスを依頼できない場合は「お客様相談窓口」にご相談ください。
- ⑨ 本保証は保証書記載欄の販売店から、お買い上げ日にご購入されたお客様（贈答品の場合は、保証書記載欄の販売店からお買い上げになられたお客様から贈答された方）にのみ有効です。
第三者から譲り受けた場合（リサイクルショップやネットオークション等含む）、使用履歴を確認できない場合は、本保証は適用されません。
- ⑩ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償保証をお約束するものです。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権限を制限するものではありません。この保証期間後において、ご不明な点がありましたら、「お客様相談窓口」にお問い合わせください。

※ 製造が終了してから3年経過した製品や、必要部品の在庫がなくなった場合等、すでに修理対応ができない製品につきましては修理をいたしかねることがあります。
 ※ 保証期間内であっても、不具合のある箇所によっては修理ができない場合があります。
 ※ 本保証は事前の通知なく変更される場合があります。

保証書

お買い上げ後、お買い上げ日・お客様名・販売店名を直ちにご記入いただき、**レシート**または**販売証明書**（ご購入年月日・販売店がわかるもの）と一緒に大切に保管してください。

製品名	TOM'S ターンロング R129		
お買い上げ年月日	年 月 日		
保証期間	お買い上げ日より1年間		
お客様	お名前		
	TEL () -		
販売店	ご住所		
	店名		
故障内容記入欄	住所		
	TEL () -		

- 万一故障が発生した場合は、この保証書とレシートまたは販売証明書をご提示ください。
 - ご提供いただいた個人情報、保証書に基づくアフターサービスのために使用し、その他の目的に使用することは一切ございません。
 - 本書は再発行しませんので、大切に保管してください。
- ※ 品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合がありますのでご了承ください。